

向日市 広報

まちのうごき

(2月1日現在)	(1月中)	
世帯数 16,163世帯	生れた人 66人	
人口 51,211人	亡くなった人 14人	
男 25,287人	転入した人 173人	
女 25,924人	転出した人 160人	

「明日の向日市」のまちづくり

基本構想を改定

人間性豊かな定住型住宅都市をめざして

市では、昭和四十七年に策定した現行の基本構想を改定、新たに昭和六十五年を目標年次とする基本構想を策定し、今月開かれる定例市議会に提案します。

今回の改定は、時代的条件的変化に伴い、現行の基本構想に新たな課題が生じてきたためです。

新たな基本構想は、「福祉・文化・教育の香り高い人間性豊かな定住型住宅都市」をめざし、「あすの向日市」のまちづくりを明らかにしています。

基本構想とは

基本構想の改定作業は、昭和五十五年から始められ、その間、まちづくり計画に市民のみならずの意見・要望などを反映させるため、「住民意向調査」など各種の調査を行い、進めていきました。

今回、その作業も終わり、新たな基本構想がまとまりました。以下、その概要についてみてみましょう。

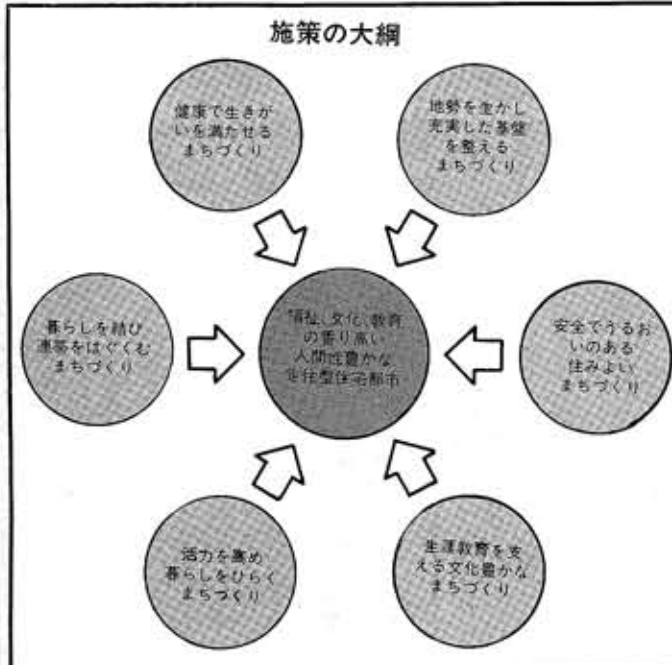
なぜ基本構想を改定するのか

市では、昭和四十七年に市制施行に合わせて、基本構想を策定しました。当時はいわゆる高度経済成長時代であり、財政も比較的豊かでした。

その後、経済基調が低成長へ転換したこと、住民要望が多様化するともに物質的なものから文化的、精神的なものへの充足へと変化してきたこと、高齢化社会への進展が予想されることなど、時代の条件的変化が顕著なものと見られています。

新しい基本構想の内容は

- (1) 将来都市機能の特性、都市形成への課題や住民アンケート調査の結果などを考え合わせて、「福祉・文化、教育の香り高い人間性豊かな定住型住宅都市」と設定します。これは、基本的には、現行基本構想を引き継いでいます。
- (2) 目標年次：昭和六十五年を目標として、社会経済情勢など本市を取りまく環境にわたる変化がない限り、昭和六十五年までの十年間は、この基本構想で設定する将来像と、これを實現するための基本的な考え方に基いて行政運営を進めて行こうとするものです。
- (3) 人口規模：昭和六十五年の上限人口を六万五千人と推定しています。これは、土地利用の方針などから、可住地にすべて人が住むことを想定した人口規模です。したがって、ゆとりある住環境を確保するため、できる限りこの数字以下に人口を抑制していくのが市の方針です。
- (4) 土地利用：土地利用の基本方針を①市の顔としての駅前整備②ゆとりのある空間の確保③農地をできる限り保全して開発を抑制④既成市街地の再開発による住環境の改善⑤文化拠点の形成に置いて、機能別に8つの土地利用の区分をしています。
- (5) 住区：市域を人口規模が同程度になるような6つの生活圏に分け、まちづくりを進めていくための整備単位とします。公園などの公共施設を、適当な数ばかりをもって配置するための一方法です。
- (6) 施策の大綱



将来の像達成をめざしてまちづくりの領域に柱別としたが、施策の方向と大綱を定めています。

(上図参照)

あなたです！ 火事を出すのも防ぐのも

春の火災予防運動 2月28日～3月13日

あの小さなタバコの火でも、500度から800度の熱をもっています。

木や布類の発火温度は、500度以下ですから、いかにタバコの火が危険かわかりでしょう。寝タバコやくわえタバコで火種がふとんに落ちたら、つ

いうっかりでは済まされない惨事になります。

◆消防へのお問い合わせ・ご相談は◆
☎ 934-0119



■向日市消防本部・消防団■